

♪カローネコ奨学金の帰国奨学生が感謝のクリスマスコンサート♪

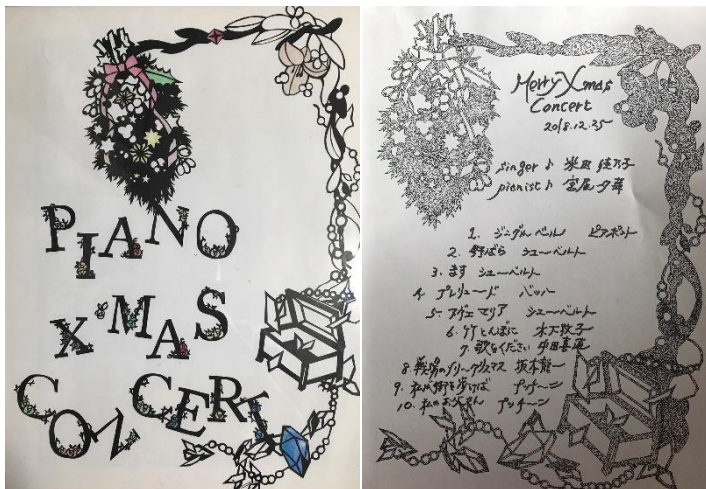
2018年12月25日、「埼玉発世界行き」冠奨学金のひとつ「カローネコ奨学金」の平成30年度奨学生である宮尾夕華さんが、奨学金の寄附者である金子製作所でクリスマスコンサートを開催しました。

コンサートは、埼玉県さいたま市岩槻区にある金子製作所のカフェ施設を会場として行われ、この日のために電子ピアノも金子製作所がご準備くださいました。

オペラが好きという金子製作所の金子晴房 代表取締役社長のお話を聞いた宮尾さんが、ご友人のソプラノ歌手、米田佳乃子さんに協力を依頼、ピアノソロ以外にも、ドイツ語やイタリア語、日本語の歌曲やオペラアリアなどを演奏しました。カフェいっばいに集まった約50名の従業員の方々は多様なプログラムに耳を傾け、終始温かい雰囲気でのコンサートとなりました。宮尾さんたちも心から楽しんで演奏することができたそうです。



宮尾さん（左）と米田さん



宮尾さん手作りのプログラム

宮尾さんは、2018年の夏、「埼玉発世界行き」冠奨学金「カローネコ奨学金」の奨学生としてドイツ・ミュンヘンのゲーティンスティテュートに留学、ドイツ語を学びながら、自身の研究テーマである山田耕筰の歌曲作品に見られるドイツ芸術の影響を考察すべく、現地で緑の地などを巡りました。奨学金のおかげで学業に専念でき、多くの貴重な経験ができたといえます。

また、宮尾さんは、「今回留学を御支援いただいた金子製作所様より、帰国後のコンサートを企画していただき、留学後の成果を披露する

場を設けていただきました。留学後にも、こうして気にかけて、応援していただけることは、音楽家にとって非常に有難く、嬉しく思いました。改めて、このような素敵な機会を設けていただいたことに、感謝申し上げます。この1つのコンサートから、どれほど多くのことを学べたか、言葉にできません。私のような恵まれた経験が出来る未来の音楽家が、今後も輩出されることを願っております。」とメッセージを寄せてくださいました。

今回のコンサートを企画した金子製作所の秋山副社長からは、「カローネコ奨学金を通じて、宮尾夕華さんとの御縁ができ、クリスマスコンサートを社内で開催できまして感無量です。製造業という業種ではなかなか出来ない取組となり、本当に有り難く嬉しく思っております。」とのコメントをいただきました。

